

令和7年度 学校関係者評価

令和8年2月18日(水)

学校評議委員 4名

指導・助言等

- ・夜間学級から定時制に進学した生徒が、とても充実した高校生活を送っていると聞いている。その情報を聞いて今年も1名受検予定である。本校定時制が受け皿として機能していると考えられる。引き続き頑張ってもらいたい。
- ・定時制の進学指導についてはアンケート結果が良くないようだが、それを受けて、教室への進路関係図書の設定や職員全体がチームとして早期から進路相談に応ずる体制を整えようと考えている、と聞き、指導の充実を図ってもらいたいと思う。
- ・「規律ある学校生活の確立のために」という項目のアンケート結果が良くないとのことだが、新型コロナウイルス感染症をきっかけに、生徒個々の特に体調のことを考えて、一定の方針を一律に適用するのが難しいというのは理解できる。中学校でも似たような状況があり、例えば、更衣が生徒個々の判断でよいことになっており、一律で、ということがなくなってきている。生徒指導は難しい局面を迎えているように感じる。
- ・生徒のアンケートには本音が表れているように思う。食堂のことも検討してみてはどうか。個人的には食堂に思い入れがある。また、中学受験の増加もあり、定員の確保が難しいのは理解できるが、海外科学体験研修など、本校には魅力的な取組もたくさんあるはずである。もっと積極的に広報活動に取り組んでほしい。
- ・先日のSSH研究成果報告会にも参加したが、本校のSSHの取組は、指導も充実しており、組織もできていて素晴らしいと思う。ただ、生徒にとっては従来の教科学習にプラスして課題探究があり、学習と生活のコントロールをすることが難しく、ストレスがあっても不思議ではない。スクールカウンセラーや外部講師の活用など教育相談の活動の充実を図り、生徒のケアを十分に行ってもらいたい。
- ・教員志望者の減少が話題になって久しい。本校は、教員になりたいという生徒を育てる学校だと思う。坂出高校には教育創造コースがあり、香川大学と連携している。西讃地域においては、本校がそのような役割を担う学校だと思っている。
- ・私立高校無償化は、公立高校入試に大きな影響があるだろうとのことだが、今回の推薦入試の方法の変更など、変化に適切に対応して欲しい。
- ・今年度からオンライン出願だが、大きなトラブルはないと聞いて安心した。